

こぶしだより

Vol. 376

2016・10・30発行

【400字で語る福祉④6】

障がいがある方が安心して暮らせるきっかけづくり



◎松本 裕生さん
(障がい者生活支援センターこぶし 主任)

相談支援の仕事に携わっていると、家庭訪問をする機会が多くなります。ご家族と暮らしていたり、単身であったりと環境は人それぞれ異なっており、それぞれが抱える障がいや問題点も大きく違います。両親の高齢化による将来への不安、対人関係、病気への不安…。在宅で生活している障がいがある方はとても多いです。気付いていないだけで実際に自分が生活している地域の中にも同じように悩みを抱える方がいるのだと思います。そう考えると、本人に何が起ったとき誰にも気づかれない可能性もありえます。実際に地域との関わりがあったことで、異常に気づいてもらったケースもありました。

支援者だけでなく、隣人や地域の方など様々な人が関わり、障がいがある方が安心して生活を送ることができる環境。すぐにできるものではないのだと思いますが、絶対に必要なものであり、そのきっかけを作っていければと感じる毎日です。

400字で語る福祉……………1 ④6 松本裕生(相談支援専門員)

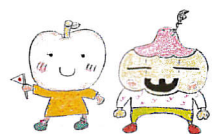
● 報告/トレーニングセンター、自主研修 ……2

● ガヤラリーこぶし……………3

● 食堂さんぽ [NPO法人 ほっとみるく カフェ・オレ] ……4-5

● 特別投稿 所長リレー [法人の歴史と理念] 先瀬所長……………7

● 事業所一覧 ● あずぶくろう……………8

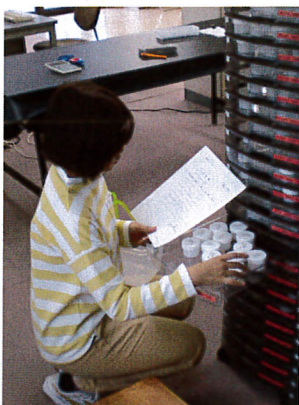


法人内4ヶ所の事業所で行われている就労移行支援事業において、今年度新たな取り組みとして、MWS（幕張ワークサンプル）を導入し、職業訓練校「トレーニングセンター」を新たに開設しました。

トレーニングセンターでは、これまでの生産活動（下請け・パン製造等）中心の取り組みから、MWSを活用した就労アシメントに主眼を置き、就労支援の強化を図っています。MWSでは、事務職を想定したOA作業や請求書作成、軽作業を想定したピッキングや部品組立、重さ計量等の様々な作業を疑似体験することができ、さらに常に一定条件下での基本的なワークスキルのアシメントを行うことができます。このような取り組みによって、作業遂行上の行動観察を通じて支援者だけではなく、利用者自身もその特徴的な行動や一般就労の場面を想定した課題を認識し、対応力を高めていくことが可能となります。そして、職業選択を行う上でもこのような疑似体験は貴重な経験となります。

また、就職してから社会人生活を継続させていくためには生活支援が大変重要で、そこで、SSTも利用している社会生活力向上のための学習や訓練にも日々取り組んでいます。

まだセンターが開始して間もないため、課題も盛り沢山ですが実践経過は随時こぶしだよりでご報告いたします。（和田）



写真はピッキングと障がい者雇用企業での研修



報告

自主研修

タイプを知ってサインを見逃さないで

支援者としてさらに障がいへの理解を深め、実践に活かせるようにという職員の思いから、職員自らが発案した研修を企画しました。第一回は「精神障がい」をテーマに、講師として自治医科大学で精神看護学について教鞭を執られている永井優子先生をお招きしました。「精神障がい」の中でも「パーソナリティ障害」と「自傷行為」について焦点をあて学びを深めることとしました。永井先生からは「困っていることをどんどん言い合えるような雰囲気をつくりたい」というご提案をいただき、当日は意見を出しやすい雰囲気をつくるためのアイスブレイクからスタートしました。研修には、8事業所より19名の職員が参加し、事例を通して様々な質問や意見が飛び交い、職種や経験年数等の違いから幅広い視点で学ぶことができました。パーソナリティ障害には様々なタイプがあり、対応のひとつとしてルールを作ることや、自傷行為は「助けて」というサインのひとつであること等を学びました。

研修を終え、各事業所から参加いただいたことでそれぞれが実践の中で日々悩んでいることを話し、今後の実践に活かしていきたいと思いました。（T）

基礎訓練科を修了しました

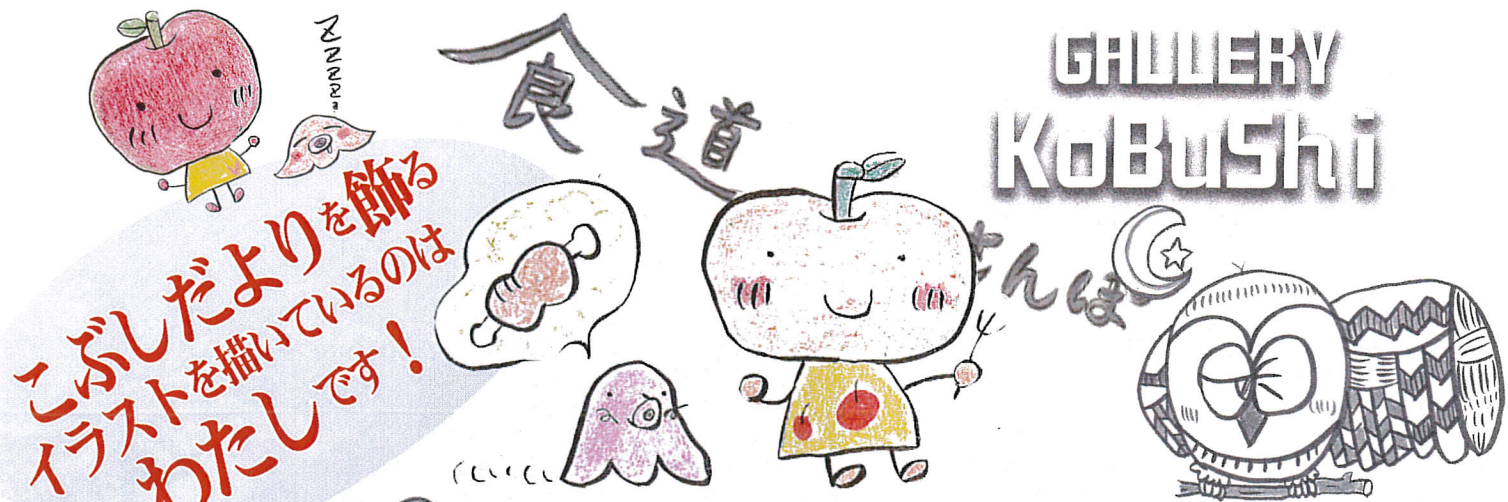
チャレンジセンターでは、7月25日から9月21日までの約2ヶ月間、栃木県立県央産業技術専門学校より委託を受け、障害者委託訓練（基礎訓練科）を開校しました。この基礎訓練科

では、講義や作業トレーニング、企業実習等を通して、社会人としての心構えやマナーを身につけるとともに、自分の能力を正しく理解し、適切に就職先を絞り込める力を習得することを目標としています。

まずは、講義やグループワークを中心に社会人として必要な労働法等の基本的な知識や心構え、マナーについて気づきを大切にしながら学んでいきます。また、作業トレーニング（事務作業、ピッキング、部品組立等）では、専門的なスキルの習得を目指すのではなく、様々な作業経験を積むことによって自身自身に合った仕事の発見、仕事上の苦手なことへの対処方法の気づきや習得をねらいとしています。さらに、トレーニング内容を講師と受講生とで繰り返しフィードバックを行うことにより、自分自身で客観的な長所や短所を捉えることが可能となっていきます。訓練期間後半では職種の異なる企業での実習も行い、濃密な2ヶ月間となったのではないかと思います。訓練終了後も引き続き就労に向けて支援を行っていく予定です。（菊地）

チャレンジセンター

GALLERY KOBUSHI



こぶしだよりを飾るイラストを描いているのはわたしです！



今回ギャラリーこぶしでご紹介するのは、こぶしだより紙面に登場するかわいらしいイラストを描いている、布野恵子さん（こぶし作業所職員）です。もともと絵を描くことに興味があったという布野さんは、なんと小学校の頃からオリジナルの絵を描いていたそうです。ファンタジーで写実的な作風が好きで、イラストレーターの中村佑介さんの作品が特に気に入っていること。最近ではお子さんと一緒に絵を描くことが多く、昔飼っていた亀の絵を描いているそうです。また、知恵ぶくろのふくろのイラストは、いくつかわパターンを描き、そこから2〜3時間で描き上げたそうです。今後も絵を描くことは続けていくそうなので、布野さんが描くイラストに今後ご期待ください。（福田）



7月23日（土）とちぎ健康の森にて『第15回とちぎアピリンピック』が開催されました。アピリンピックとは障害者の職業能力向上を図ることに、理解と認識を深め、雇用の促進につなげることを目的に、職業技能を競い合うことです。優秀な成績を収め方は、全国大会への出場権をもちることが出来ます。大会当日はビルクリーニングやパソコンデータ入力等14種目に約90名出場されました。

アピリンピックに出場しました！一般就労者の現在 自らを振り返るいい機会でした。



フィス・アシスタント』に出場しました。多くの観覧者に見守られた中で競技が行われる為、始まる前は皆さん緊張した面持ちでしたが、競技が始まる頃培っている技能を發揮しようと集中し取り組んでいました。結果としては賞を逃してしまいましたが、柴さんからは「自分の今までの仕事を振り返るいい機会になりました。大会に関わられ方々に感謝しています。ありがとうございました。」と、また来年出場したいと意気込みを語っていました。（松本）

今回は、日光市足尾町にある「ほっとみるくの店カフェ・オレ」に富山&星宮が新人編集委員福田を連れて行って来ました。

深緑の木々に囲まれたお店は、窓を開放しているため夏でも涼しく、さわやかな風によって大きなトンポのお客様も来ていました。春は桜、秋は紅葉と、四季折々の風景が楽しめるそうです。



川のせせらぎを背に入った店内でまず目に飛び込んで来たのは、ところせましと並んだ洋服や雑貨の数々。素敵な取り揃えだったのでお尋ねすると、奥様が、長い都会暮らしの洗練されたセンスで、浅草で買い付けてきたものだそうです。また、お店の装飾品も一見の価値あり。少し遠いですが、足尾の大自然とおいしい料理と素敵な雑貨にぜひ出会ってください。事前予約すれば定休日も開けてくれるそうですよ。



■〒321-1151
 栃木県日光市足尾町 2206 花の渡良瀬公園内
 電話番号：0288-93-2772
 営業時間：4月～11月末までの土日祝
 午前10時～午後3時 期間限定オープン
 平日は事前予約により営業します。
 ※12月～翌年3月は冬季休業♪



食道 さんぽ

ほっとみるくの店

カフェ・オレ に行ってきました～



小さな厨房で料理を仕上げ、手際よくてんぷらを揚げる佐々木さんと利用者さん。2人とも恥ずかしがり屋でこちらを向いてくれませんでした。とってもおいしかったです。ありがとうございました!!

【佐々木さんにインタビュー】

Q：法人名の「ほっとみるく」はすごくかわいいのですが、何か由来があるのですか？

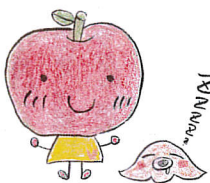
A：「ほっと」はほっとする場所、「みるく」は作業所のあった場所が以前牧場だったからそう名付けたの。

Q：看板メニューはカフェオレですか？

A：残念！店名の「カフェオレ」はフランス語でほっとする、心温まるという意味なの。飲み物の「カフェオレ」のつもりじゃなかったから、開店当初カフェオレはメニューにもなかったのよ。

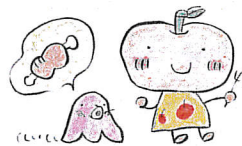
Q：あらためて、おすすめメニューをお願いします

A：おすすめはうどんセット。つけあわせのジャガイモはうちの畑で採れたものです。主人はてんぷらを揚げるのがとても上手なのでてんぷらもおすすめですよ。



はげ山に木を植えるはずで移住した足尾でわたしたちがつくった居場所

店主の佐々木さんご夫妻は、足尾に引っ越してくる前は東京で作業所の運営に携わっていたそうです。その作業所が社会福祉法人になるタイミングで運営を後進に引き継ぎました。その後は「福祉の世界からは身を引くゆくりしたい、自然のある場所で障がいのある娘との時間を過ごしたい」と思っていたそうです。ある日テレビで足尾銅山のはげ山に木を植え、森の再生をしている人々の存在を知り、その作業に参加するため足尾へ生活の拠点を移しました。いざ足尾に来てみると、重度障害者の居場所がない、特別支援学校を卒業した後の進路について、行政や福祉関係者が心配の声を上げる中、作業所がない…「ないものは自分たちでつくろう!」という声かけにより、16年前にほっとみるくが誕生しました。





時代や制度が変わっても、子を思う親の気持ち、当事者の願いは変わらない。当事者・親・法人理念・職員…それぞれの「思い」が重なる場所を私たちは目指します。



法人の理念と歴史をテーマに所長リレー
先灘 和文 (こぶし作業所 所長)

法人立ち上げの動きが昭和49年から始まり、昭和54年に認可されてから38年がたとうとしています。これは私が生まれる前からのことです。そのような私が理念と歴史を語るには不十分と承知しながらも、この機会に振り返ってみたいと思います。

こぶし作業所に一枚の大きな絵が保管されています。この絵はこぶし作業所が認可される前のもので、日曜作業所と呼ばれまだ通う施設がなかった時代に、日曜日のみ民家の一室にて障がいのある方が洗濯ばさみの組み立てを行っている様子が描かれています。この活動を膨らますため、ボランティア精神でかかわってきたご家族やご協力者、先輩職員方がいらつしやいます。後援会をつくり、各労働組合や企業様にもバックアップの働きかけを行いながら施設づくりのための活動が広がり、宇都宮市柳田町にそれぞれの思いをのせたこぶし作業所が作られました。当時、通所施設は大変珍しかったため、宇都宮市の近隣市町から利用する方もおられたそうです。事業を進めるにあたり、利用希望者も増えていき、住み慣れた地域で生活を継続する観点から、芳賀・真岡・上三川地域に作業所が建設されてゆきました。また、障がい者が暮らしてゆくには、日中の作業

所だけでは困難なケースも多く、地域にグループホームを設立し対応してきました。現在は6つの日中事業所、8つのグループホームで、登録利用者数は300人以上、職員数も130人を超えるまでとなり、それに加え国・県・市・町の委託事業も実施しております。

これだけの大きな規模になると、一つ一つの思いを事業として組織する必要があり、事業の方向性を定める計画が必要となってきました。社会福祉法人としての公益性を発揮するために、平成17年に策定された第二次中期計画では法人外部からも多くの方に協力いただき、これまでの総括とこれからのこぶしの会の方向性を定める作業が行われました。

他方、制度面では、障害者自立支援法により法的な位置づけが第二種事業の扱いとなる規制改革が行われ、事業運営について経営的な側面も考える必要性が出てきました。また、障がいのある方の人権を守るための条約や法律・条例などが時代とともに制定され、徐々に生活を支える土台が整備されてきております。

先日、こぶし作業所を利用していただいているご家族との懇談の中で、「将来への不安」「制度が使いつらくなっている」「法人、作業所への要望」が積極的に話されました。費用負担・人権・二

ズなどの様々な面から障がい者を支える骨格は変わってきていますが、懇談の中で聞かれたことは、私が法人に勤めはじめた15年前のご意見とあまり変わらない部分も多くあります。時代や制度は変わっても、子を思う親の気持ち・障がいのある方の自分で頑張っていきたいという気持ちは変わらないでしょう。

大切にすべきはそれぞれの「思い」を重ねること

法人が大きくなり事業運営が複雑化する中、各職員が当事者やご家族と「思い」を重ねながら仕事をしてゆくことが改めて大切なことだと思っています。法人立ち上げの際の一人一人を大切にしてきたやり方、周囲とかわりながら支援をしてきたあの時代には、取り組んできたことの素晴らしさもありますが、それを形作ってきた「思い」が大変重要なものだと思います。法人理念はその「思い」の基、作られたものだと思います。今は自分の持つ「思い」が利用者・家族・法人理念と重なっているのかを顔を合わせながら十分に確かめる必要があると思います。

こぶしの会 理念

- 1 地域社会の発展に貢献し、地域福祉の拠点となる事業経営をめざします
- 2 福祉サービスの最適化を図ります
- 3 職員の働きがい、生きがいの実現を図ります



【こぶしづかん=辛夷図鑑】こぶしの会に生息するゆかいな職員のおすすめの本を毎回ご紹介。

わたしのおすすめの本

こぶしづかん



鴻池剛と猫のぼんた
ニャアアアア
●著者 / 鴻池剛
●KADOKAWA/ エンターブレイン

落ち込んでいても元気になります！

― 読んだきっかけは？
たまたま、本屋で見かけ手に取りました。なんとなく表紙に惹かれて。気分が落ち込んでいた時に読むと元気になれる本です。

― どのような内容ですか？
飼い主と自由気ままな猫の生活が面白おかしく描かれています。福祉とは関係ないですが、気分転換になります。お祖母ちゃんの家で猫を飼っているの、その日常の中に共感する部分があったりして癒されます。

― 猫が好きなんですか？
はい。休日はよく買い物に出かけるのですが、本屋で立ち読みをする時などは、猫の写真集や漫画などをよく読みます。

集を見て応募しました。前職ではあまり利用者のみなさんと触れ合う機会がなかったのですが、グループホームの夕食作りに入ったときに、ふれあいの機会ができ、お話ししたりと、楽しいです。

― 最後に一言
今後、もっと勉強して本部事務員としてみなさんのお手伝いができるように頑張ります。



石川 静久
(いしかわしずく)さん
法人事務センター 書記

― こぶしの会に入ってきたきっかけは？
前職も福祉関係の事務職で、こぶしの会の募



嫌われる勇気～自己啓発の源流「アドラー」の教え～
●岸見一郎・古賀史健 / 著 ●ダイヤモンド社

心理学に興味のある僕に父が教えてくれました

― 読んだきっかけは？
自分が心理学に興味がある事を知った父が、教えてくれました。

― 読んだ感想を聞かせてください
厳しい内容ですが実話です。印象に残ったことは、自己受容の難しさと行動する勇気です。実際に読み終えた感想としては、うまく説明できないのですが、「スッキリした」という感じです。対話形式なので、読みやすく、内容も分かりやすかったです。

― 趣味や休日の過ごし方を教えてください
趣味はドライブや音楽鑑賞です。先日、埼玉のレイクタウン

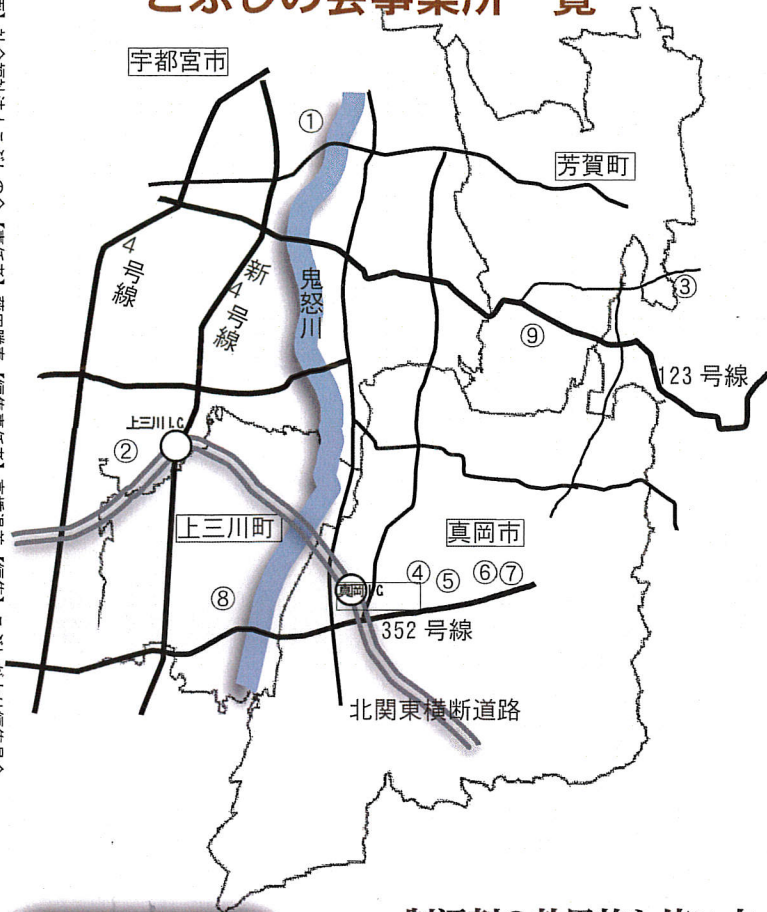
に行き夏服をたくさん買ってきました。安かったので…。それとレコードが好きで、古い洋楽のレコードを買ってきて聴いています。レコードやディスコファンク系が好きです。休日はレコードを聞きながら日本酒を飲むのが楽しみです。

― お仕事は、いかがですか？
今年でこぶしの会に入って3年目になります。グループホームの仕事は、日常全般にわたるので、たくさんあって大変ですが、職員間の仲がとても良いので、楽しくやっています。



石川 良太
(いしかわ りょうた)さん
けやきハイツ 世話人

こぶしの会事業所一覧

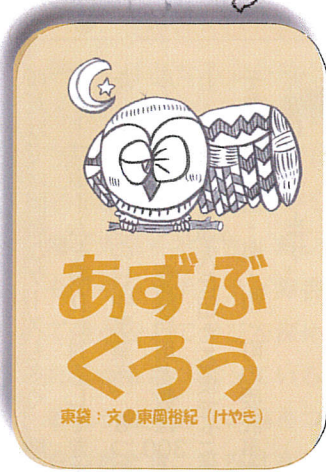


制汗剤の効果的な使い方

まだまだ暑い日が続いていますね。こんな時はさっぱりしたいので制汗剤を使う方が多いと思いますが、制汗剤ってどんな成分が入っているかわかりますか？制汗剤は収れん作用が含まれた成分によって物理的に汗を止めるものだそうです。また汗の吸収成分である酸化チタンパウダーなどによって汗のべたつきを抑える働きを持ったものも多いようです。実は汗を止める効果のある制汗剤は入浴直後に使うのが一番効果的とのこと。翌朝シャワーを浴びても効果は続くそうです。肌が綺麗なときに使わないと効果はないそうです。汗をかいてしまったらデオドラントシートなどで汗を拭いて殺菌し、乾いてから制汗剤を使うようにしましょう。

- ① 宇都宮市柳田町 1401
 こぶしの会法人本部
 028-613-3707 (F) 028-666-6128
 028-666-0418 (居住生活支援事業部)
- ② 宇都宮市茂原町 837-1
 こぶし作業所
 028-653-1020 (F) 028-688-1121
 障がい者生活支援センターこぶし
 028-613-5703
- ③ 芳賀郡芳賀町祖母井 2244
 けやき作業所
 028-687-1040 (F) 028-677-5789
 地域活動支援センター「ほっとCHA」
 090-7820-9165
 芳賀郡芳賀町祖母井 1704-8
 第2けやき作業所
 028-689-8301 (F) 028-689-8302
- ④ 真岡市亀山 1043-23
 セルフ・みらい
 0285-81-1155 (F) 0285-81-1177
- ⑤ 真岡市荒町 3-9-5
 県東ライフサポートセンター真岡
 0285-83-2567 (F) 0285-85-8055
 お菓子工房 ピケ
 0285-81-7091 (F) 0285-81-7092
- ⑥ 真岡市荒町 111-1
 県東圏域障害者就業・生活支援センター「チャレンジセンター」
 0285-85-8451 (F) 0285-85-8452
- ⑦ 真岡市荒町 111-1
 相談支援センターのどか・真岡センター
 0285-81-5890 (F) 0285-85-8452
- ⑧ 河内郡上三川町大字上三川 5082-15
 上三川ふれあいの家ひまわり
 0285-38-6821 (F) 0285-38-6841
 上三川町障がい児・者生活相談支援センター
 0285-38-6854
 アトリエ・ド・パン シュシュ
 0285-56-7731 (F) 0285-56-7732
- ⑨ 芳賀郡芳賀町西水沼 438-2
 おらがそば茶屋
 028-680-5091 (F) 028-680-5092

【企画】 社会福祉法人こぶしの会【責任者】 藤田勝春【編集責任者】 高橋温美【編集】 こぶしだより編集委員会
 【住所】 〒320-0919 宇都宮市柳田町 1401 番地【発行所】 東京都世田谷区站 6-26-21 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 定価 50円



【編集後記】

♥みらいの親睦旅行第一弾で大洗に行ってきました。久々の遠出、楽しみです。今回はアクアワールドに行き水族館を楽しみつつマグロ・イクラ丼を頂いてきます。みんなと一緒に色々な思い出をつくってきますよ。(渡邊)

●暑かった夏も終わり、朝晩はだいぶ涼しくなりました。夏、部屋にクーラーのない私は、毎晩扇風機をつけばなしにして寝ていました。思えばよく風邪をひかなかったなあ〜と。

秋はイベントがいっぱいです。体調管理をしっかりして、存分に楽しみたいと思います。(星宮)

★チャリティーウォーク挑戦中に某W氏が焼きそ

ばを食しているのを発見。実においしそうだったため、さっそく翌週再度日光を訪れて無事購入。短めの麺だがとっても美味で盛りも多く皆様にもぜひお勧めしたい。日光市清滝の「れんがya」、いろは坂へのドライブがてらに立ち寄ってみては？(松本)

◆だいぶ涼しくなってきましたね。おでんに肉まんがおいしい季節ですね。美味しい物をたくさん食べて元気に頑張ります。(布野)

◆4月よりこぶしの会に入社し編集員となりました福田と申します。学生時代は野球部に所属しており社会人野球もやっています。常に全力投球で頑張っていきたい

と思いますのでよろしくお願いたします。(福田)

◆何か新しいことをはじめてみようという釣りに行ってみました。竿の扱いから何もわからない中、子どもと2人でいざ港へ。釣果は小さい魚3匹。何の魚かわからずにいたら、近くにいた漁師さんの小学生の子どもがいろいろと教えてくれました。また行きます。(菊地)

■10月に入り、寒くなる前と思い、自宅の大掃除を開始。片づけを始めると「あの時は必要と思っていたけど…」のものがたくさん出てきて、なんとか理由を付けて処分踏ん切りをつけ、現在も片づけ中です。(富山)